

平成 2 2 年千葉市教育委員会会議  
第 8 回定例会会議録

千葉市教育委員会

平成22年千葉市教育委員会会議第8回定例会会議録

日時 平成22年8月18日(水)

午後2時開会

午後2時55分閉会

場所 教 育 委 員 会 室

出席委員 委 員 長 津田 英彦  
 委 員 岩沼 静枝  
 委 員 内山 英夫  
 委 員 梅谷 忠勇  
 委 員 和田 麻理  
 教 育 長 志村 修

出席職員 教 育 次 長 武田 昇 保健体育課長 井谷 芳明  
 教 育 総 務 部 長 西田 典夫 教育センター所長 山下 正敏  
 学 校 教 育 部 長 時田 猛 養護教育センター所長 奥村 兼弘  
 生 涯 学 習 部 長 宇留間 正 生涯学習振興課長 杉戸 利一  
 総 務 課 長 森島 俊之 社会体育課長 成毛 博光  
 企 画 課 長 高須 右一 中央図書館長 鹿間 陸郎  
 学 校 財 務 課 長 伊藤 太一 総務課総括主幹 大崎 賢一  
 学 校 施 設 課 長 補 佐 渡辺 康弘 学事課調整主幹 湯浅 忍  
 学 事 課 長 芝崎 易生 総務課主幹 川名 和弘  
 教 職 員 課 長 三野宮純一 生涯学習振興課主幹 古川 和明  
 指 導 課 長 小寺 道明

書 記 総務課長補佐 南 久志 総務課人事係長 中尾 嘉之  
 総務課委員会係長 小池 正彰 総務課主査補 諏訪 瑞穂  
 総務課総務係長 小柳 寛 総務課主任主事 藤井 拓也

- 1 開会  
津田委員長より開会を宣言
- 2 会議の成立  
全委員の出席により会議成立
- 3 会議録署名人の指名  
津田委員長より和田委員を指名
- 4 会期の決定  
平成22年8月18日（1日間）ということで全委員異議なく決定
- 5 議事日程の決定  
議事日程を全委員異議なく決定
- 6 議事の概要
  - (1) 非公開事項の決定  
議案第44号及び議案第45号を非公開審議とする旨決定
  - (2) 報告事項  
報告事項(1) 平成22年度「子ども議会」について  
指導課長より報告があった。  
報告事項(2) 第63回千葉市中学校総合体育大会の結果について  
保健体育課長より報告があった。  
報告事項(3) スポーツ施設の命名権スポンサーの募集について  
社会体育課長より報告があった。
  - (3) 議決事項  
議案第44号 千葉市学校給食センター設置管理条例の一部改正について  
保健体育課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。  
議案第45号 県費負担教職員の処分について  
教職員課長より説明があった後、審議。全委員異議なく、原案どおり可決した。
  - (4) 発言の要旨  
報告事項(1) 平成22年度「子ども議会」について  
津田委員長 指導課長、報告をお願いします。  
指導課長 報告事項(1) 「平成22年度『子ども議会』について」、報告します。  
去る8月3日、千葉市議会本会議場にて子ども議会を行いました。  
この議会は、「本市の将来を担う子どもたちが、市民一人一

人がいきいきと幸せに暮らせるまちづくりに向けた具体的な提案を行う中で、千葉市民としての意識を高められるようにすることを目的として、これまでの中学生議会とは目的を変え、今年度新たにスタートさせたものです。

当日は、市長、副市長をはじめとして、千葉市議会議長、副議長が出席し、123人の子ども議員が参加して行われました。8月3日までに、二度の事前学習会と、関係部局の担当者から実際の話を知る事前勉強ゼミを経て、11のテーマに分かれた12のグループが、自分たちのテーマに沿った千葉市の現状から、行政にお願いしたいことや、自分たちの果たすべき役割について考え、提案を行いました。

例えば、「海川グループ」の提案では、幕張の浜や花見川の現状を、写真等を活用して効果的に訴えかけました。また、美化活動が少しでも進むよう、定期的に汚水の検査を実施することや、「ビーチコーミング大会」等を設け、自然保護と美化活動推進への働きかけを行ってほしいと提案するとともに、ボランティア活動への参加など、自分たちが果たすべき役割についても考えながら、子どもらしい発想で提案活動を行いました。

市長からは、前半・後半に分けて、12グループすべてに対してコメントがあり、最後に、「立場の異なる人が集まって話し合い、意見をまとめる経験が大切である。」、「小さなことから一つ一つ実行してほしい。」、「提案については責任を持って考えていきたい。」との講評がありました。今後は、報告書を作成するとともに、アンケート等を集約し成果と課題についてまとめ、子どもたちが提案した内容は、関係部局に連絡し、必要な内容については回答をいただく予定です。

和田委員 子ども議員123人が参加したということで、非常によく勉強して、千葉市の課題も分かったと思います。抽選などはなく、応募者が全員参加したと聞いていますが、募集の方法を教えてください。

指導課長 まず、5月1日号の市政だよりで募集しました。約1か月募集期間を設けましたが応募が少なく、同時進行で学校にも募集をかけました。すべての学校からというわけではありませんでした。小学校6年生と中学校2・3年生から多くの応募がありました。

和田委員 今年度参加した子どもたちが、その成果や、自分たちの学習したことを周囲に話すことで、より発展していくと思います。最後

にありましたが、必要なものは回答を依頼するというので、子ども議員から子どもならではの、またプロではわからないような提案がいくつかありましたが、これに対し行政がどのように取り組むのか、また無理だと、反映できないという回答も含めて、どのような結果になったかということ子どもたちに伝えていただきたいと思います。

梅谷委員 小・中学生にとって、市民としての意識というか、その成長にとっても重要で、良いプランだと思います。一つ提案ですが、子ども議会の主体的な取り組みといいますか、子ども自体の役割、アクションとして子どもなりに起こせる内容がグループの中で提案されています。このように子どもができる範囲で参画するのが大事だと思いますので、それをもう少し充実したものにするように工夫してほしいと思います。

指導課長 「自転車グループ」の中で、「学校での指導が足りない部分があるのではないか。」との意見がありました。学校と相談しながら改善していきたいと思います。内容的にどこの部局に伝えるかなど、なかなか難しい面もありますが、きちんと子どもたちに伝えていきます。そのことが責任ある我々の対応だと思います。

梅谷委員 「市への提案」と、「子どもたちで出来ること」で分けた方がよいと思います。プロジェクトを組んで、意識だけでなく実際行動して、後でまとめをすることで成長があるのではないのでしょうか。

津田委員長 ここでやることだけで終わらないでほしいということで、検討いただければと思います。

岩沼委員 「電話グループ」では、携帯電話のトラブルが出ていますが、学校の中でかなり身近な問題なのではないかと思いました。学校主催の説明会やマナー講習会などで、かなり踏み込んでやっていく必要があります。具体的にどのようなことをするのか教えてください。

また、「住環境グループ」で「学校の空き教室を使った託児所の増設」がありますが、現在も子ども手当を現金支給でなく、保育所の増設という実質的なサービスとしたほうがよいのではないかなど意見がいろいろ出てきています。千葉市が財政難である中で、空き教室の活用について語られるものとしては、高齢者の福祉施設での活用が多いですが、これからは保育所としての要望がもっと出てくると考えられます。今のところの教育委員会とし

ての空き教室の活用についての姿勢や課題などがあればお示し下さい。

指導課長 携帯電話については身近な問題として、特に中学生が深く考えていました。グループ討議の中でも、メールについての良いところと悪いところを検討しており、どうすれば便利な機器に振り回されることなく、自分たちが主体的に付き合っているかを真剣に考えていました。具体的な提案にまで煮詰まっていまいませんでしたが、携帯電話については問題意識をかなり強く持っていると感じました。携帯電話のマナーについては、学校でもDVDなどの資料を使って指導をしていますが、これを踏まえて違った形での指導の在り方も考えられるかと思えます。

企画課長 空き教室については、「子どもルーム」として25校、その他、高齢者の生きがいづくりと健康増進のための「いきいきセンター」や防災備蓄などで利用されています。新たな基本計画を作る中でも既存の空き教室を活用し、地域コミュニティの拠点としての機能を備えた開かれた学校づくりを進めたいと思えます。

なお、不特定多数の方が利用された場合は児童の安全確保が問題となりますので、今後、市民局や総合政策局など関係部局と協議を行い、どのような活用が可能なのか検討していきたいと考えています。

報告事項(2) 第63回千葉市中学校総合体育大会の結果について

津田委員長 保健体育課長、報告をお願いします。

保健体育課長 報告事項(2)「第63回千葉市中学校総合体育大会の結果について」、報告します。

まず、7月17日から22日の6日間にわたり開催した「千葉市中学校総合体育大会」は、連日猛暑の中での大会となりましたが、大きな事故もなく終了することができました。また、大会2日目の18日には、教育長・学校教育部長による視察がありました。

続いて、県の総合体育大会が7月24日から8月1日まで、関東大会が8月5日から11日まで開催されました。

関東大会においては、陸上競技が「県総合スポーツセンター陸上競技場」で、水泳競技が「千葉県国際総合水泳場」で開催されました。なお、全国大会については、8月17日から25日までの期間で開催されています。

市・県・関東大会の結果及び全国大会への出場状況ですが、団

体種目では、市大会において、花園中学校ハンドボール男子、幕張本郷中学校剣道男子が3年連続優勝を果たし永久杯を獲得しました。県大会においては、花園中学校ハンドボール女子が優勝し、関東大会の団体でも、ベスト8に入りました。

個人種目の主な出場選手の結果としては、新体操で「●●●●中学校 ●●●●」が優勝、「同校 ●●●●●」が準優勝、「●●●●中学校 ●●●●」が第3位に、「●●●●●中学校 ●●●●」が第4位に入りました。卓球では「●●●●中学校 ●●●●」がベスト8に、「同校 ●●●●●」がベスト16に入りました。相撲では「●●中学校 ●●●●●」がベスト16に入り、それぞれ全国大会出場を果たしました。また、水泳競技女子では、800m自由形で昨年全国優勝した「●●中学校 ●●●●」が今年度も出場しますので、その活躍が大いに期待されます。なお、全国大会へは6種目27人が出場する予定です。

内 山 委 員 各段階を経て、全国大会に出場する選手がおります。彼らの活躍を期待したいと思います。この基盤となっている部活動ですが、顧問の先生が日々生徒をリードして頑張り、生徒には心身の鍛錬になる良い体験になると思います。自分の実力を知る、努力をすることの大切さ、また口惜しい思いも含めて生々しい体験を通して成長していく姿が大切です。特に他校の生徒と同じ土俵で行動を共にすることは、良い体験になります。また、顧問の先生は全人格的ふれあいが生徒とあるため、お忙しい中、指導されるのは大変なことですが、是非頑張ってもらい、生徒の成長を図ってほしい。感謝と期待を込めまして申し上げました。

報告事項(3) スポーツ施設の命名権スポンサーの募集について

津田委員長 社会体育課長、説明をお願いします。

社会体育課長 報告事項(3)「スポーツ施設の命名権スポンサーの募集について」、報告します。

去る8月13日より、社会体育課が所管する「千葉ポートアリーナ」、「千葉アイススケート場」、「千葉市民ゴルフ場」について、愛称として企業名・商品名又はサービス名等を付ける権利、「命名権」を購入するスポンサー募集を開始しました。

事業の目的は、売却により得られる収入によりスポーツ施設の管理運営を長期的に安定させ、スポーツ振興を図ることです。

対象施設の概要についてですが、「千葉ポートアリーナ」は、全国レベルの各種大会のほか、有料興行等も開催されています。

募集金額は年額1,000万円程度、契約期間は平成23年4月1日から5年間としています。

「千葉アイススケート場」は、県連盟主催の各種大会や強化練習等に利用されています。募集金額は1,000万円程度、契約期間は平成23年2月1日から、現在の指定管理期間の満了日である平成26年3月31日までの3年2か月となっています。なお、スケート場については、オープンにあたり、市民の方から愛称を公募し、「アクアリンクちば」として親しまれてきた経緯がありますので、命名者の方には事前に説明し、これまで貢献していただいたことについて御礼を申し上げるとともに、事業の趣旨についてご理解をいただいています。

「千葉市民ゴルフ場」についても、募集金額は1,000万円程度、契約期間は平成23年2月から3年2か月です。指定管理期間は平成30年3月31日までとなっています。

なお、広告料収入による自主財源の確保については、平成22年3月に策定された「千葉市財政健全化プラン」における取組みの項目に位置づけられています。

また、本市のこれまでの命名権の導入事例としては、「フクダ電子アリーナ」、「京葉銀行文化プラザ」があります。

募集金額については、3施設とも希望契約額であり、下回る提案も可能としています。また、いずれの施設も契約期間満了時には更新・再募集を行います。

今後のスケジュールですが、9月30日に募集を締め切り、10月中にスポンサー候補者選定委員会を開催しスポンサーを決定、合意が得られ次第看板変更等の準備を開始し、スケート場・ゴルフ場については2月から、ポートアリーナについては指定管理にあわせ4月から新名称導入と考えています。

津田委員長　すでに電話で問い合わせが入っているということが新聞に載っておりましたが。

社会体育課長　広告代理店2社から問い合わせがありましたが、応募には至っていません。

梅谷委員　各施設の利用実績は、当初予定数値を上回っているのでしょうか。

社会体育課長　スケート場については、冬季オリンピックの年にオープンしたことから、利用者数は予定していた人数より多い状態が現在も続いています。市民ゴルフ場は、昨年度は予定人数に近い数でした

が、今年度は若干減少しています。

議案第44号 千葉市学校給食センター設置管理条例の一部改正について

委員長 保健体育課長、説明をお願いします。

保健体育課長 議案第44号、「千葉市学校給食センター設置管理条例の一部改正について」、説明します。

平成17年に休止し、PFI手法で整備を進めてきた「新港学校給食センター」が、平成22年10月から供用を開始するとともに、当分の間、「こてはし学校給食センター」を休止するため、条例の一部を改正するよう市長に申し出ることについて、議決を求めるものです。

センターの概要ですが、本センターは「より豊かで安全な学校給食」を目的とする「学校給食センター再編・整備計画」の一環として整備したものです。整備にあたっては、平成17年から供用を開始している「大宮学校給食センター」と同様に、本センターの整備においても、安全で質の高い給食サービスの提供が期待できることから、PFIによる事業手法を導入したものです。

次に施設の主な特徴ですが、ドライシステムを採用し、HACCP（ハサップ）の概念に基づき汚染・非汚染区域の明確なゾーニングを行い、衛生管理の徹底を図ったこと、調理室、揚物・焼物室及び洗浄室等のセンター内の作業全体の様子が見学可能であること、食育活動の推進を図るため、小会議室にオープンキッチンを備えたことなどです。最大供給食数は1日約1万食、給食提供校は20校です。

次に、今後の学校給食センター整備についてですが、「新港学校給食センター」の供用開始に伴い、平成22年9月30日をもって「こてはし学校給食センター」を休止し、当分の間は「新港」「若葉」「大宮」の3センターで運営します。その間、「こてはし」の整備手法を検討するとともに、「こてはし」の整備後は「若葉」を廃止し、最終的には「新港」「こてはし」「大宮」の3センター体制で中学校給食を提供していく予定です。

委員長 最終的には3センター体制ということですが、今までのところで、3センターで具合の悪いことがあるのでしょうか。それとも、これで十分だということに移行されているのでしょうか。

保健体育課長 「新港」整備中は、「若葉」「こてはし」「大宮」の3センター体制で中学校の給食をすべて供給していました。3センターで

の稼働で供給数等は十分で、問題は無いと把握しています。また、今回「大宮」に続いて「新港」がHACCPという衛生管理体制の非常に高い給食センターとしてオープンします。HACCPとは、NASAで宇宙食の安全性を確保するために開発された食品の衛生管理システムで、汚染の発生を最大限抑え、汚染・非汚染区域の明確なゾーニングを行うものです。「大宮」「新港」が非常に高いレベルで供給を行う十分な衛生管理体制であると認識しています。

委員 要望ですが、新しくできる新港学校給食センターの施設の特徴の中に、あらゆる作業全体の様子が見学可能であったり、食育活動の推進を図るためにオープンキッチンを備えているということがあります。身近なところで給食が作られていない中学生は、感謝の気持ちを忘れがちになるかと思いますので、中学生に対しての食育も、今後、充実させていただければと思います。

#### 議案第45号 県費負担教職員の処分について

委員長 教職員課長、説明をお願いします。

教職員課長 議案第45号、「県費負担教職員の処分について」ですが、中学校教諭による体罰事件が起きましたので、千葉市教育委員会組織規則第8条第5号の規定に基づき議決を求めるものです。

被処分者は「千葉市立●●中学校教諭 ●●●● ●●歳 男性」、処分内容は「戒告」です。処分理由ですが、被処分者は、平成22年7月8日（木）午後1時頃、清掃指導をするため3階廊下を見回りしている際に、第二音楽室前の廊下に数人の生徒がおり、生徒に対して清掃をするよう口頭で指導しました。他の清掃場所を見回ってから、再度第二音楽室の様子を見に行くと2人の生徒が机の上に座っており、指導したにもかかわらず先ほどと変わらない様子に腹を立て、机から降りた当該生徒に対し腹部を蹴り、首を押さえ、その手を振りほどこうとした生徒の首を強くつかみ、「掃除をします。」と言っている生徒に対して、平手で殴打しました。その後、「●●●●。」という当該生徒に対して再び殴打し、頭部に頭突きを1回しました。この行為により生徒が●●●●●したものです。

このような行為は、あってはならないことであり、生徒、保護者はもとより、市民の皆様の本市学校教育に対する信頼を損ねるとともに、その職の信用を著しく失墜させるものであり、教育公務員として許されない行為です。よって、学校教育法第



も声を上げずにそのままにしてしまったこと、声をあげる大人がいても役所がすぐ緊急事態と認識して強硬な行動をとらなかったことなど、多くの問題点が取り上げられました。それぞれの地域で起こったらという事を自分に照らし合わせて考えた方も多かったと思います。学校や児童相談所の話を知ると、先生方の中でも、自分の児童・生徒に虐待が疑われるものの保護者が否定している場合、通報をかなり迷うとのことでした。様々なケースがあると思いますが、千葉市教育委員会としてはどのような姿勢を打ち出していますか。

指導課長 虐待については、小・中学校等から児童相談所へ通報したという報告が指導課に上がってきています。学校生活の中で不自然なあざがあるなど、事前に気づいた場合は養護教諭やスクールカウンセラーと連携して適切な対応をするよう指導しています。今、お話のあった通報をためらうような場合も、なるべく、指導課や児童相談所へ連絡してもらって、相談してほしいと伝えています。相談の結果、通報となる場合または関係機関と連携を図りながらしばらく様子を見るという場合も、ケース・バイ・ケースではありますが、原則としては疑わしい場合は通報するという事を研修会などのおりに周知しています。

岩沼委員 「疑わしい場合は通報」ということが千葉市教育委員会の姿勢だということを、保護者の方や校長だけでなく、新任の教員まで全ての現場の教員に、かなり強く打ち出すことが必要だと思います。学校はある意味、閉鎖された社会になっていると言われますが、「私は通報したほうが良いと思う。」、「いや、もう少し待ちましょう。」などと意見の統一を図っているうちに遅くなるということがありえると思います。「上司はそう思わないかもしれないが、私は通報します。」ということも必要かもしれないので、是非その千葉市の姿勢を周知し、強く打ち出していきたいと思っています。

(3) 新任教員のサポートについて、岩沼委員より質問があった。これに関連し、次のとおり質疑応答等があった。

岩沼委員 第7回定例会で、新任教員に対するサポートについて伺ったのですが、このところ新任の教員が多く、これから何年も続くと考えられる中で、先日伺ったサポート規模で人数は足りているのだろうかと思いました。システムは出来ているものの、実際に運用する時に、新任教員が何年か体験を積むまで誰かが寄り

添って見守ってくれていると思える程の体制になっているのか、再度伺います。採用をセーブしていた時期の層が中堅～管理職となり、実際的な新任教育を任されるようになってきていると思いますが、セーブされた期間が長かったために後輩を迎えることがなく、新任教育の経験もあまり積むことができなかった層であり、しかもその数は大変少なく、これから何年も続く大量採用にその体制が追いついていくのかが大きな問題になってくると思います。重ねての質問になりますが、そののところはどうなっているのでしょうか。

教職員課長 今年の場合でお話しますと、新規採用者数は小学校で140人、中学校で72人となっており、全く教員経験のない者は134人、それ以外は他市で経験ありとなっています。

全く教員経験のない教員に対しては、全校指導体制を採り指導を行っています。また、新規採用教員4人に対して1人の指導教員を配置し指導にあたっている他、校内にも指導担当を置き、生徒指導・学級経営等様々な観点から指導をしていくという体制を作っています。

なお、昨年との状況と変わった点があり、国の指導教諭の定数について、昨年度までは9割配置で残りの1割は県費で配置していましたが、今年度は県費負担部分の1割を市で負担することになりました。人数的には確保されており、拠点校方式は現状のとおりとなっています。

学校教育部長 現在200人近くの新規採用職員がおり、4人に1人ですので、50人の指導教員が必要です。正式な教員の中から初任者の指導にあたる経験年数を見込んで、毎年人事異動の中で選んでいます。今後200人近くの新規採用が続く中で、指導教員の確保については、退職した教員を再任用するなどして対応しています。

初任者の指導は、1年目は手厚い体制で行ってありますが、2年目、3年目の教員への指導体制は、なかなか取れていません。年々若手が増えていきますので、経験5年目までの比較的若い教員に対し、教務主任や先輩教員が講師となり、学校の中での研修を定期的に行っていくという校内体制が、小学校で8割、中学校でも半数の学校で行っています。そうした体制で若手職員を現場の中で育成している状況です。

(4) 夏休みの事故発生報告について、内山委員より質問があった。これに関連し、

次のとおり質疑応答等があった。

内 山 委 員 夏休みも3分の2過ぎましたが、今までのところ事故発生の報告はありませんか。

学 事 課 長 学校事故に関しては、報告等上がっていません。

津田委員長 今年はこのほか暑いので、いろいろな事故が新聞報道などありますが、まだ気を緩めないようにしていただきたいと思います。

(5) 次回第9回定例会は、事務局において日程を調整の上、開催日時を決定することとした。

## 8 閉会

津田委員長より閉会を宣言